

どうする私たちの町づくり

一般質問

11月13日

知りたい！聞きたい！



吉村 忍 議員

資源として活用できる

ごみの収集について

問 3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進マスコットキャラクターを作成し、「3Rを実践して、環境にやさしく、美しいまちを作りましょう！」と町民に呼びかけ、住民・事業者・行政の3者が協働して3R活動

集団回収の支援とは？

再生資源の集団回収を行う地域団体（婦人会、子供会等）に対して、資源化推進の支援策の一環として、収集車両の貸与やチラシ作成、及び放送等を実施

集団回収の支援の実績

★久賀地区（年3回）

主催：久賀女性団体連絡協議会

★小松地区（年3回）

主催：社会福祉協議会

★屋代地区（年4回）

主催：社会福祉協議会

★三浦地区（年2回）

主催：社会福祉協議会

★沖浦地区（年2回）

主催：婦人会

★東和地区（年2回）

主催：自治会（小積）

★橘地区（年1回）

主催：自治会（鹿家、栄、安高、原、古城、和戸、西浦、真宮、おれんじヒルズ、長天、安下、源明、川間、庄南、庄北、大泊、吉浦、秋、日前郷、日前浜、長浜、土居、油良）

※塩宇、正分、三ツ松、江の浦、樽見は自治会単独で実施。

に取組むことを基本に、循環型社会の構築を進めていく方針とし、資源として活用できる可燃ごみ（空カン・空ビン・ペットボトル）は分別収集し再資源化に努めている周防大島町だが、資源として活用できる可燃ごみ（新聞・雑誌・段ボール・紙パック・古着等）についても分別収集し、再資源化に努めるべきではないかと考えるが見解を問う。

おいて、3R運動の推進の一方策として、「集団回収の支援の継続」を掲げ、総合支所が協力して行われているため、町が主体的に取り組む考えはない。

問 イオングループに設置してある無人の古紙リサイクルシステムを総合支所に設置し、町独自のポイントシステムを構築し、貯まったポイントで町指定のゴミ袋購入、さらには町税の支払いの一部に充当することができれば、町民の3Rに対する機運がさらに高まるのではないか。

答 理想論のような話である。自主的に古紙回収に取り組む団体をもっと作っていくべきと考える。

問 柳井市の「資源ごみ回収奨励金制度」のような、再生資源を回収し、業者に引き取ってもらった場合に重量に応じた奨励金を交付する制度を導入する考えはないか。

答 研究したいと思う。

ふるさと納税について

問 寄付金の使い道について、現在のところ大まかな選択肢はあるが、これに応援したい地域コミュニティや地域づくり活動団体、あるいは文化振興団体、さらには花火大会等のイベントといった新たな選択肢を加え、より具体的な使い道が選択できるようにすることで、財源確保に苦しみ各種団体の活動を支援するとともに、地域活性化はもとより、観光交流人口の増加をも狙いとしたいものにするべきと考えるが見解を問う。

答 寄付金という不安定な財源が適切であるかどうかという点も、既に補助金として支出していることをご理解いただきたい。